

仙台西多賀病院 地域医療連携室だより vol.40

上野山市民まつりに参加しました

来場者数 77名

平成28年5月8日(日)

近隣の上野山コミュニティーセンターで開催された上野山市民まつりに看護部4名、栄養管理室2名、事務部2名で参加しました。手首に超音波を伝播させ、約15秒で骨のセルフチェックができる機器“骨ウェーブ”を使った骨の強さの測定や、栄養相談、血圧・体脂肪測定、手指消毒指導を実施しました。

参加者より

今回は、骨ウェーブにより測定した結果に基づいて注意する食事内容についてパンフレット及びサンプル食品を用いて説明しました。また、その他に気になる食事の相談も併せて行いました。当日は、暑さも厳しく水分補給の重要性についても説明させて頂きました。

地域の皆さまと健康相談という形で関わる中で、皆さまの食事・栄養に対する関心の高さに驚き、栄養相談の重要性を改めて感じた一日でした。今後も継続的に参加させて頂きたいと思います。

(栄養管理室長 蛇口 利章)



認知症疾患学術講演会を開催しました

平成28年7月22日(金)

「アルツハイマー型認知症 Total Care を考える～看護・治療の立場から～」

共催：仙台西多賀病院、武田薬品工業株式会社、ヤンセンファーマ株式会社

プログラム



座長：武田篤院長（仙台西多賀病院）



【講演1】

～介護・看護の観点から～

「チーム医療連携における看護の在り方とその役割」

内海 史子 認知症看護認定看護師
(長町病院)

【講演2】

～診断・治療の観点から～

「認知症の診断と治療」

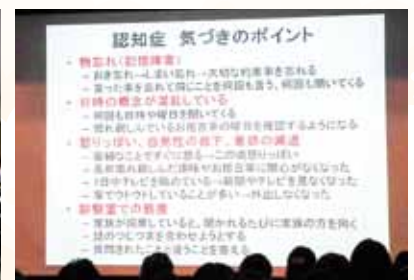
下濱 俊 教授
(札幌医科大学医学部 神経内科学講座)

内海先生の講演では、介護・看護の観点から、認知症認定看護師としての業務や事例を通しての地域との連携の講話をいただきました。

下濱先生の講演では、診断・治療の観点から、似た症状を呈する病態の鑑別診断が重要で、認知症を早期診断・早期治療することで早期に介入することができる。また、認知症の予防や発症の遅延は、医療費・介護費等の社会的費用の削減につながり大きな経済効果が期待されるとのお話をいただきました。当日は約75名の方が来場され熱心に受講されました。

講演会の後には情報交換会も行われ、お世話になっている地域の先生方と交流を深めることができました。

(保健師 橋谷田 由美)



～仙台西多賀病院の理念～「良い医療を安全に、心をこめて」

第57回 東北大学脊椎外科セミナーを開催しました

平成28年7月15日(金)、
16日(土)

2日間にわたり、当院を会場として第57回東北大学脊椎外科セミナーを開催しました。

セミナー内容

- 診断の進め方
- 神経学的所見の取り方、解釈
- 画像診断
- 検査手技 ミエロ、ディスコ、S R G等
- 保存療法
- 手術適応の判断
- Informed consent の進め方
- 手術手技の実際 (Love、開窓、頸椎脊
柱管拡大術のビデオ供覧)
- 術後 follow



東北大学専修医及び他大学専修医を対象に、脊椎疾患を扱う上で専修医が身につけておくべき知識・技術等の習得を目的としたベーシックコースを実施しました。開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

(副院長 両角 直樹)

市民公開講座を開催しました

平成28年7月17日(日)

知っておきたい筋強直性ジストロフィー@仙台

当院を会場に、筋強直性ジストロフィー治験推進のための臨床基盤整備の研究班／難治性筋疾患の疫学・自然歴の収集および治療開発促進を目的とした疾患レジストリー研究班共催で市民公開講座を開催しました。

患者さんとそのご家族・医療関係者の方々を対象に、疾病やリハビリテーション、福祉制度などの理解を深めること、そして、新しい治療法を一日も早く届けるための患者登録推進を目的として実施しました。

全国各地にて筋ジストロフィー診療に携わる先生方の講演を聞くことができる貴重な機会ということもあり、130名を超える方に参加いただくことができました。

参加者からは、「非常にわかりやすかった。」「全国の先生方の日々の活躍に感謝している。」「また開催してほしい。」という声が聞かれたり、活発な質疑応答があったりと興味深く聞いていただくことができる有意義な時間となりました。

(内科系診療部長 高橋 俊明)



13名の講師が講演を行いました。



講演会後の患者会では「自分でできるリハビリ」についての講義も実施しました。

プログラム

1. 病気についてよく知ろう～今できることをしっかりと～ 分かりやすい病気のメカニズム

呼吸の問題	同志社大学生命医科学部医生命システム学科	石浦 章一
心臓の問題	国立病院機構仙台西多賀病院神経内科	高橋 俊明
代謝の問題	弘前大学大学院医学研究科不整脈先進治療学講座	佐々木真吾
嚥下・消化管の問題	国立病院機構青森病院神経内科	高田 博仁
お口の問題	国立病院機構旭川医療センター神経内科	油川 陽子
妊娠・出産に関わる問題	国立病院機構あきた病院歯科	鈴木 史人
	東京女子医科大学小児科	石垣 景子

2. 知っておくと便利な色んなこと 利用できる制度やサービス

ちょっとした工夫が大切	国立病院機構仙台西多賀病院地域連携室	相沢 祐一
リハビリテーションは生活を豊かにする	国立病院機構あきた病院神経内科	和田 千鶴
みんなの支えも大きな力	国立病院機構あきた病院リハビリテーション科	菊地 和人
	NPO 法人筋強直性ジストロフィー患者会	妹尾みどり

3. みんなで変えよう筋強直性ジストロフィーの将来

くすりの開発と患者登録の意味	大阪大学大学院医学研究科機能診断科学・神経内科学	高橋 正紀
研究班の活動と臨床研究・治験への協力お願い	国立病院機構刀根山病院神経内科	松村 剛

疾患ノート

中高年の膝の痛み
～診察・診断の進め方～

リウマチ科医長 田村 則男

専門領域

リウマチ、関節外科、外傷、整形外科一般

認定医・専門医

日本リウマチ学会リウマチ専門医

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リウマチ財団リウマチ登録医

はじめに

膝の痛みを訴えて外来を受診される中高年の患者さんを診察する際、変形性膝関節症を念頭に診断を進めていくことが一般的です。しかし関節リウマチ、偽痛風、化膿性関節炎、大腿骨顆部骨壊死、半月損傷などの鑑別すべき疾患があります。そこで診察・診断の進め方について述べます。

診察・診断の進め方

①入室時

姿勢、肢位、歩容の観察

②問診

発症時期、受傷機転の有無

発症様式（急性発症では偽痛風、化膿性関節炎を疑う）

痛みは動作時か安静時か（安静時痛があれば炎症性疾患を疑う）

膝の使い方（職業、スポーツ歴、正座・しゃがむ動作が多いか等）

既往歴、家族歴（関節リウマチ等）

③視診

アライメント（O脚、X脚）

発赤（偽痛風、化膿性関節炎を疑う）

筋萎縮（経過が長いと推測）

④触診

熱感（炎症性疾患を疑う）

関節水腫（ほとんどの疾患で生じる可能性あり）

膝窩嚢腫（関節水腫の強い症例で生じることあり）

圧痛部位、可動域

過伸展テスト、McMurray テスト（陽性であれば半月損傷を疑う）

ここまでの診察である程度の「あたり」をつけ、次に局所熱感の有無に着目します。熱感がなければ変形性膝関節症・大腿骨顆部骨壊死・半月損傷を、熱感があれば関節リウマチ・偽痛風・化膿性関節炎を念頭に X 線撮影を行います。

熱感のない膝の X 線像で関節裂隙狭小化、骨棘形成、軟骨下骨の骨硬化像を認めれば変形性膝関節症（図1）と診断して良いでしょう。痛みを説明できる様な関節裂隙狭小化がなければ半月損傷・大腿骨顆部骨壊死を疑い MRI を実施します。

熱感を伴う膝の X 線像で半月、軟骨の石灰化を認めれば偽痛風（図2）を疑い関節穿刺でピロリン酸 Ca 結晶を確認します。骨萎縮像、骨破壊像を認めた際は関節リウマチ（図3）、化膿性関節炎を疑い関節穿刺、培養を行います。さらに白血球数、血液像、赤沈、CRP、リウマトイド因子、抗 CCP 抗体等を適宜測定することで多くの場合鑑別診断が可能です。



図1 変形性膝関節症



図2 偽痛風



図3 関節リウマチ

おわりに

中高年の膝の痛みの診察・診断の進め方について述べました。実際には診断の困難なケースがありその際は広く網をはるつもりで検査を行う事が重要です。

新人看護師スキルアップ研修Ⅱを開催しました

平成28年7月8日(金)

八木山市民センター（仙台市太白区）で新人スキルアップ研修を行いました。久しぶりに仲間が集まったことで会話ははずみ、終始笑顔が絶えませんでした。レクリエーションではフルーツバスケットやむかで競争、バレーボールを行いました。体を動かすことでリフレッシュでき、チームワークの形成にもつながりました。午後は『入職 3ヶ月を振り返って』をテーマにグループワークを行い、研修生それぞれが自分の考えを相手に伝え、耳を傾けながら思いを共有することができました。研修後は「思い切り体を動かしてリフレッシュできた」「楽しかった」「今後も頑張ろうと思った」「1年後のなりたい自分が描けた」などの声が聞かれ、大変有意義な研修となりました。研修を通して仲間との絆も深まり、未来のなりたい自分に向かって一歩を踏み出した新人看護師たちが、少しくましく見えました。今後の成長と活躍を期待しています!!

(教育担当看護師長 吉田真由美)



第18回 筋ジストロフィー病棟合同医療・生活懇談会を開催しました

平成28年
7月5日(火)

第一部は筋ジストロフィー病棟合同の懇談会を、第二部では国立精神・神経医療研究センター神経研究所長の武田伸一先生を講師に迎え講演会を行いました。講演は「筋ジストロフィーに対する新たな治療」というテーマで筋ジストロフィーの最先端の治療についてわかりやすくお話ししていただきました。

講演の中では筋ジストロフィーの遺伝子治療や筋ジストロフィー犬の研究などのお話もあり、患者ご家族のみならず地域で暮らす在宅患者さんや他県の外部施設など多くの方に参加してもらうことができました。

参加されたご家族からは実施後のアンケートにて「大変わかりやすかったです。希望のある話でうれしかったです。」「研究が進み、より良い医療が展開されることを願っています。」など多くの感想をいただき、大変有意義な時間となりました。

次年度の開催に向け、更なる内容の充実に取り組んでまいります。

(児童指導員 服部博瑛)



医師の異動

よろしくお願いいたします

平成28年8月1日採用

- ① 職名 氏名 ② 専門領域
③ 認定医 専門医 ④ ひとこと



- ① 整形外科医師 林 耕宇
② 骨軟部腫瘍、外傷、整形外科一般
③ 日本整形外科学会整形外科専門医
④ 8月から整形外科に赴任しました。
宜しくお願ひ致します。

お世話になりました

- 平成28年 5月31日付 異動 泌尿器科医師 大原英一郎
7月31日付 辞職 整形外科医師 川上 純

南病棟行事

今年の南病棟の外部ゲストによる行事は、
ベガルタチアリーダーズによるダンスパフォーマンスでした!!

6月22日(水)、南1階重症児(者)病棟の誕生会、還暦を祝う会においでいただき、若さあふれる3人のチアリーダーの方たちに元気よく、軽快な音楽に合わせたダンスを披露していただきました。患者さんやご家族もポンポンを持って一緒に踊りました。記念撮影も行い、笑顔あふれる素敵なひとときを過ごすことが出来ました。ベガルタチアリーダーズの皆さん、どうもありがとうございました!
(主任保育士 片岡久美子)



認知症疾患医療センターよりお知らせ

お知らせ①

『もの忘れ外来』についてのご案内
～ご紹介ください～

今後見込まれる認知症患者数増加への対応として、認知症患者の診療を専門医療機関とかがかりつけ医とが連携して行うことの重要性が指摘されています。

そのため、認知症が疑われる患者さん・認知症の患者さんについて、専門医療機関との連携が、平成24年度の診療報酬改定で、下記のような「診療情報提供料への加算・療養指導料」というかたちで評価されるようになっていきます。

当院は、「専門医療機関」に該当する「認知症疾患医療センター」の指定を、仙台市から平成27年9月1日付で受けました。まもなく開設から1年となりますが、今後どうぞご活用ください。

なお、連携する医療機関では、下記の項目の算定が可能となっております。

認知症専門医紹介加算 — 100点

*** 専門医療機関に紹介した際に診療情報提供料 250 点に加算されます。**

「認知症の疑いがある患者」について、専門医療機関(認知症疾患医療センターなど)での診断等の必要を認め、専門医療機関へ紹介を行った場合は、診療情報提供料に加算算定することができます。

認知症療養指導料 — 350点

*** 専門医療機関で確定診断のあった方の診療を行う場合に月1回、6ヶ月算定可能です。**

「専門医療機関において認知症と診断された患者」について、かかりつけ医が専門医療機関からの診療情報に基づく診療を行う場合に、月1回、6ヶ月まで算定できます。なお、算定については専門医療機関への診療情報提供が必要となります。

認知症専門医療機関連携加算 — 50点

*** 専門医療機関で確定診断のあった方を症状増悪等により再度専門医療機関に紹介した際に診療情報提供料 250 点に加算されます。**

「外来で管理している認知症患者(専門医療機関において既に認知症と診断された患者)」について、症状が増悪した場合や定期的な評価が必要な場合に、専門医療機関に紹介を行った際は、診療情報提供料に加算算定することができます。



仙台西多賀病院 仙台市認知症疾患医療センター
予約電話番号: 022-245-1810
相談電話番号: 022-245-2122
FAX: 022-245-1811

お知らせ②

市民公開講座

『認知症映画上映会&講演会』
開催決定!

日時: 平成28年11月23日(水)

14:00 ~ 16:00

(開場・受付 13:30)

会場: 太白区文化センター2階

楽楽楽(ららら)ホール

(宮城県仙台市太白区長町5丁目3-2)

参加費: 無料

内容: 第1部 映画上映(90分)

「妻の病ーレビー小体型認知症ー」

演出: 伊勢 真一 製作: いせフィルム

第2部 講演(30分)

「もしかして、認知症？」

～早期発見のススメ～

講演: 国立病院機構仙台西多賀病院

院長 武田 篤

主催: 仙台市認知症疾患医療センター

(国立病院機構仙台西多賀病院)

後援: 仙台市

電話: 022-245-2122

事前お申し込み受付(必須)

FAX: 022-245-2373

記載事項: 氏名・連絡先 TEL

参加人数・年代・性別

期限: 平成28年11月18日(金)

担当: 橋谷田

認知症について
一緒に考えて
みませんか?



◎ 仙台西多賀病院の外来は予約制です。

外来担当表

区 分			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	せばね	新患	古泉 豊	川原 央			国分 正一
		再来	国分 正一	国分 正一	川原 央	古泉 豊	国分 正一
				両角 直樹		三宅 公太	
	関節	新患			田村 則男 (第1・3・5週)		
		再来			大出 武彦		田村 則男
	せばね・関節		須田 英明	須田 英明	須田 英明	須田 英明	
	側弯症						両角 直樹 ※1
	神経内科	新患	東北大学医師	高橋 俊明	武田 篤	吉岡 勝	金原 禎子
田中 洋康				大泉 英樹			
再来		武田 篤	吉岡 勝	高橋 俊明	大泉 英樹	田中 洋康	
					金原 禎子		
内 科			三浦 明	三浦 明 苅部 明彦 (循環器専門) ※2	長崎 明男 (第2・4週)		三浦 明
リウマチ内科				齋藤 輝信	齋藤 輝信	齋藤 輝信	
小 児 科			(午後) 小林 康子 (成長発達)	小林 康子	小林 康子 (乳児健診・予防注射)	(午前) 小林 康子 (午後) 大村 清 (小児筋神経)	
脳神経外科			永松 謙一 (第1週) ※3				
泌尿器科					東北大学医師 (第2・4週)	武弓 俊一	
遺伝カウンセリング							(午後) 苅部明彦または高橋俊明 ※2
もの忘れ外来 ※4			大泉 英樹	田中 洋康	馬場 徹	武田 篤	金原 禎子
禁煙外来					武田 篤	苅部 明彦	
歯 科							佐藤 敦 ※5

平成28年8月1日 現在

※1 脊柱側弯症の新患者様のご紹介は、側弯症外来日（金曜）にお願い致します。

※2 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。

※3 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。

※4 もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。

※5 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。



独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院

〒982-8555
宮城県仙台市太白区鉤取本町2丁目11-11

◎ 電 話：022-245-2111(代表)

◎ FAX：022-243-2530

◎ URL：http://www.nishitagahosp.jp/

地域医療連携室(直通)

◎ 電 話:022-245-1810

◎ FAX:022-245-1811

発 行／仙台西多賀病院地域医療連携室
発行責任者／地域医療連携室長 高橋 俊明

※仙台地下鉄を利用して来院される場合は八木山動物公園駅または長町南駅をご利用ください。

※東北道を利用して来院される場合は仙台南ICをご利用下さい。
(東北道～山田ICまたは、山田IC～東北道はご利用できません。)

